

【川崎市立末長小学校グランドデザイン】

「学校経営目標」と「令和8年度重点目標」に向けて

学校教育目標 「誰もが明日も登校したくなる学校」の創造 ～地域を愛し、地域の強みを生かして～

(重点)○インクルーシブ教育の理念を意識した「主体的に学習に取り組む態度」を育成する授業づくりと評価

○友達や地域の良さを認め合い、協働して意欲的に課題や活動に取り組む場面の保障

豊かな人間性

- 規範意識の向上
 - ・「学校スタンダード」の実効性の向上と汎用性の検討
- 自他を大切にできる心情や態度の育成
 - ・道徳教育の充実と人権意識の向上

健康・体力

- 体力向上への意識向上
 - ・キラキラタイム等の意図的な運動機会の保障
- 自身の健康に関心をもち、実践する態度の育成
 - ・日常的な保健指導、保護者と連携した健康管理

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・課題や問題に対する自分の考えをもつ
- ・自分の考えを友達と交流し広げ深める
- ・身につけた力を他教科や生活で生かす

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①感性(五感)を働かせながら思いや考えを効果的な方法や言葉で表現している②情報を結合したり条件付けしたりしながら自分の考えを修正し、深めている③自らの学習に見通しをもって取り組み、粘り強く調整しながら深めている

子供の实態

教師の提示した課題に対して一生懸命に取り組もうとする
(課題) 自分から思いを発信する力
自分で考え創造する力

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 〈個々の思いや考えを価値付ける〉
- ・多くの教員の目で子供を見取り、情報共有しながら個別の支援をする
- ・ICTを含む学習用具の工夫をする

目指す子供の姿

自ら学び 共にかかわり
高め合う子
他者とのかわりによって
自己の成長を自覚できる子

何を学ぶか (教育課程の編成)

教科・領域が示す指導【事項】の定着

- ・汎用性のある知識・技能の獲得と定着
- ・思考・判断・表現する力の育成

どのように学ぶか (教育課程の実施)

- 「聴いて→考えて→つなげる」学習を日常的に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る○日常的に言葉のスキルを高める○自らの学びを見通し、振り返る力が身に付く学習活動を行う

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

○「チーム末長」としてのカリキュラム・マネジメント ○外部講師を入れた研究、研修

◎地域人材(資源)の活用 ◎SDGs に向かう企業や団体、組織と連携したアクション

安心・安全を守る

- 「学校安全マニュアル」「学校スタンダード」の実効性を高め、心身ともに安心な学校を目指す

開かれた学校作り

- 学校 HP の活用
- ◎学校運営協議会を柱にした教育活動の創造